

クイズに挑戦 長野県の取り組み

各設問に間違っている答えが1つずつあります。

Q1. 間違っているものはどれでしょうか？

1. 長野県地球温暖化防止県民計画では、2012年までに温室効果ガスを1990年比6%削減するとしている。
2. 2004年の長野県の温室効果ガス排出量は1990年度比14%増だが、これは全国平均を上回っている。
3. 2004年度の県内の温室効果ガス排出量は1745万トンであるが、各部門別排出量で最も割合の高いのは家庭部門である。

Q2. 間違っているものはどれでしょうか？

1. 長野県地球温暖化防止条例は平成18年3月30日に公布された。
2. 長野県地球温暖化防止条例では、県民の皆さんに地球温暖化対策の積極的な取り組みをお願いしている。
3. 長野県地球温暖化防止条例では、「森林税」についても取り決めをしている。

Q3. 間違っているものはどれでしょうか？

1. 長野県のCO₂排出量は家庭部門の伸びが26.0%と大幅に増加している。
2. 家庭部門の伸びを大きくしている要因は世帯数の増加とパソコン・冷暖房機器等家電製品の普及である。
3. 家庭からのCO₂排出量を燃料種別・用途別でみると自家用車の普及に伴い「ガソリンから」が最も多くなっている。

Q4. 間違っているものはどれでしょうか？

1. エンジンをかけてすぐ出発すると、CO₂濃度が濃くなるので良くない。
2. エアコンはこまめに調整する。
3. 走行抵抗を減らすためタイヤの空気圧不足にならないよう注意する。また、不要な荷物は降ろし、遠出以外のガソリンは満タンにしないほうが良い。

Q5. 間違っているものはどれでしょうか？

1. この100年間で地球全体の平均気温は0.74度上昇し、日本全体では1.10度上昇した。
2. 長野県の平均気温をおよそ100年前の1900年と比べると長野市で1.18度、飯田市で1.26度高くなっている。
3. 諏訪湖の「御神渡り」は異常気象のため、温暖化にもかかわらず最近増える傾向にある。

Q6. 間違っているものはどれでしょうか？

1. 京都議定書でCO₂吸収量が認められる森林は、一定の制限が設けられている。
2. 県内で今後5年間に実施する森林整備で増えるCO₂吸収量は32.7万トン、6万世帯分に相当すると見込まれている。
3. 長野県森林づくり県民税は、個人の場合年額1,000円である。